

親子で参画できるプログラム開発と促進者（ファシリテーター）養成

○目 的

- 子どもの社会性の芽を育むため、「親子で参画できるプログラム・ステップ3」を開発するとともに、地域で取り組めるよう、ステップ1及び2と併せてメニュー化し、地域に提案。
- 子どもの主体性を育てる親（大人）の関わり方を学ぶことが、プログラムのポイント。
- 取り組みの促進者・調整役（ファシリテーター）の養成と県内への取り組みの拡大を図る。

○推進体制づくり

- 「H25年度しまね協働実践事業」実施の際に構築した推進体制により、ステップ3を開発し、NPO法人しまね子どもセンターとネットワークを組む県内30の子育て団体と連携し、県内への取り組みの拡大を図る。

※県の部局横断連携組織（少子化対策推進室，しまね暮らし推進課，中小企業課，社会教育課）

	事業名	年齢	ねらい
社会性を育む ステップ 1 親への啓発	乳幼児の外遊び「おそとで、あそぼっ！」 <ul style="list-style-type: none"> • モデル地域：雲南市海潮地区で実施（H25.11/7） • 講師：しまね子どもセンタースタッフ（こころ講師活用） • 親の関わり：子どもを見守り、自主的な動きを待つ 	0歳～3歳	自発性 感性
社会性を育む ステップ 2 親への啓発	親子コミュニケーション「つくって、あそぼっ！」 ※新たな視点でのプログラム開発（H25年度） <ul style="list-style-type: none"> • ワークショップ 「誰も見たことのない生き物を作ろう」＋お話 • モデル地区：雲南市海潮地区で実施（H25.11/27） • 講師：永野むつみさん（人形劇団「ひぼぼたあむ」主宰） • 内容：紙遊びとワークショップ • 親の関わり：子どもの創造性を見守るスタンスの体験 	3歳～就学前	創造性



	事業名	年齢	ねらい
社会性を育む ステップ 3 地域への啓発	地域で体験プログラム「ちいきで、あそぼっ！」 ※新たな視点でのプログラム開発 <ul style="list-style-type: none"> • 体験：「はたらキッズ大作戦」（企業，青年会議所協力） ※H26年度プログラム開発 ※促進者・調整役（ファシリテーター）の養成	小学校低学年	協調性